

第2学年 保健体育科 学習構想案

日 時 令和 3年11月18日 (木) 第 校時
場 所
指導者 教 諭 原 辰徳
養護教諭 今坂 道子

1 単元構想

単元名	「 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 」		
単元の目標	<p>(1)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解できるようにする。(知識)</p> <p>(2)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりすることができるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>① 喫煙については、たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下などの様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病などの様々な疾病を起しやすくなることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。特に未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、ニコチンの作用により、依存症になりやすいことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② 飲酒については、酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力、自制力、運動機能を低下させたり、事故などを起しやすくなること、急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起し意識障害や死に至ることもあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。また、常習的な飲酒により、肝臓病や脳の疾病など様々な疾病を起しやすくなることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。特に未成年者の飲酒については、身体に大きな影響を及ぼし、エチルアルコールの作用などにより、依存症になりやすいことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③ 薬物乱用については、覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により、依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。また、薬物乱用は、個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく、社会への適応能力や責任感の発達を妨げるため、暴力、非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすことがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手しやすさなどの社旗環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>① 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、事柄や情報などについて、原則や概念をもとに整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を比較したり、活用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康の保持増進する方法を選択している。</p> <p>② 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、疾病やがん等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え、選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
喫煙、飲酒、薬物乱用の心身へのさまざまな影響（害）について理解し、課題の解決に向けて、生活の質を高めるという視点から科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりできる。			

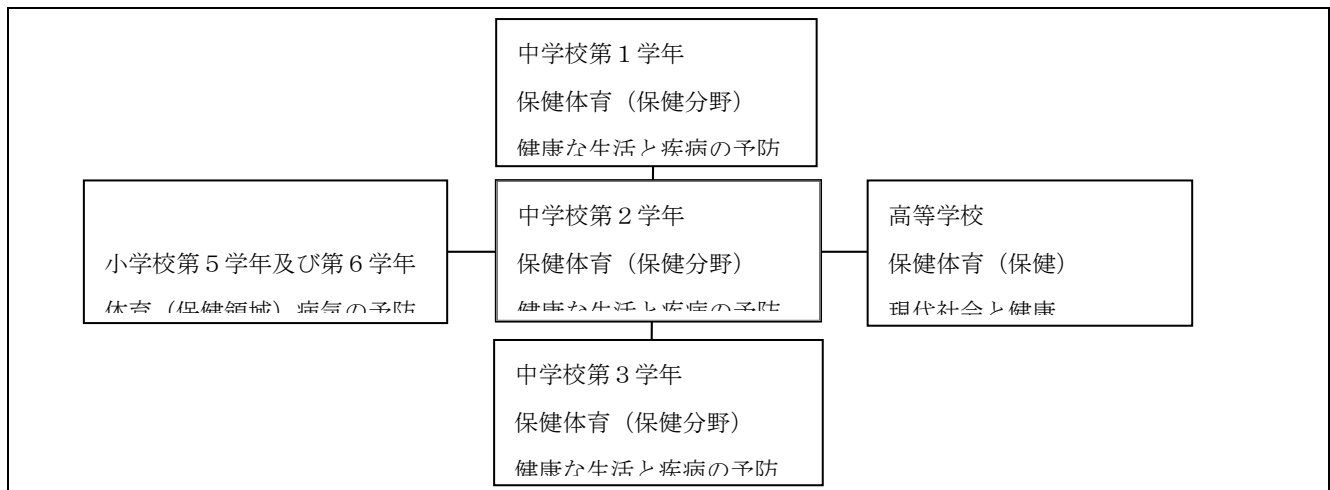
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）	本単元で働かせる見方・考え方
喫煙・飲酒（未成年の）、薬物乱用はなぜ禁止されているのだろう	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境作りと関連付けること。

指導計画と評価計画（ 5時間取扱い 本時 2 / 5 ）

過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	1. 資料から気づいたことを話し合う。 2. たばこの有害物質を調べる。 3. 資料を基に、喫煙の健康への影響を調べ、整理する。 4. 喫煙開始年齢と健康の影響について考え、発表する。 5. 資料から分かることをまとめ、説明する。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【思判表①】 発言、ノートなど 【知識①】 発言、ノートなど ★喫煙は、ニコチン、タール、一酸化炭素などのたばこの有害物質により、心身にさまざまな影響（害）を与え、健康を損なう原因となることを言ったり、書いたりしている。
	1	1. 飲酒についてのイメージを持ち、課題をつかむ。 2. 課題について個人で調べ、整理する。 3. 班でまとめ、全体で共有する。 4. 養護教諭が補足説明を行う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。 6. まとめたことを班や全体で共有する。	【思判表①】 発言、ノートなど 【知識①】 発言、ノートなど ★飲酒は酒に含まれるエチルアルコールの作用により心身にさまざまな影響（害）を与え、健康を損なう原因となることを言ったり書いたりしている。
	1	1. 覚醒剤の使用や所持が、年齢に関係なく、法律で禁止されている理由について話し合う。 2. 資料を基に、乱用される薬物について調べる。 3. 薬物乱用について整理する。 4. 資料を基に、薬物乱用の脳への悪影響について調べ、健康への影響を整理する。 5. 資料を基に、薬物乱用の悪循環について調べ、説明する。 6. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【思判表①】 発言、ノートなど 【知識①】 発言、ノートなど ★覚醒剤や大麻などの薬物乱用は、心身にさまざまな影響（害）を与え、健康を損なう原因となることを、言ったり書いたりしている。
	1	1. 「薬物乱用は、周りの人には迷惑をかけないから、個人の自由だ」という考え方について、正しいかどうか話し合う。 2. 資料などから、薬物乱用が周りの人に与える影響について整理し、発表し合う。 3. 薬物乱用による犯罪や事故について調べ、発表し合う。 4. 「薬物乱用は、周りの人には迷惑をかけないから、個人の自由だ」という意見に対し、どのように説得するか考え、発表し合う。 5. 学習したことを整理し、ノートなどにまとめる。	【思判表①】 発言、ノートなど ★薬物乱用と健康に関わる事象や情報から課題を発見するとともに、習得した知識を活用して、課題解決の方法を考え、その理由など他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。 【知識②】 発言、ノートなど
	1	1. 身近な生活での飲酒の機会や誘惑について話し合う。 2. 喫煙、飲酒、薬物乱用には害があると知りながら、それを始めてしまう理由について考え、整理する。 3. 社会環境と喫煙、飲酒、薬物乱用について調べ、整理する。 4. 喫煙・飲酒・薬物乱用をしないための対処について調べ、整理する。 5. 誘惑に対しての断れない背景や正しい対処について調べ、発表し合う。 6. 学習したことを整理し、ノートにまとめる。	【態度①】 発言、ノートなど 【思判表①】 発言、ノートなど 【知識②】 発言、ノートなど ★喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを、言ったり書いたりしている。

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）
中学校学習指導要領保健体育第2学年「健康な生活と疾病の予防」 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。
教材・題材の価値
喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となることや、そのような行為は、好奇心、なげやりな気持ちなどの個人の心理状態や人間関係、社会環境などによって助長されることを気づかせ、どのような場面においても適切に対処できる力をつけることに適している。
本単元における系統



生徒の実態 (単元の目標につながる学びの実態) 2年1組 33名

■ 本単元の学習に関する意識の状況

	質問	大変 ある・思う ・知っている	少し ある・思う ・知っている	あまり ない・思わない ・知らない	全く ない・思わない ・知らない
1	たばこに興味がありますか	0%	10%	7%	83%
2	お酒に興味がありますか	0%	27%	52%	21%
3	二十歳になったら煙草を吸いたいですか	0%	7%	14%	79%
4	二十歳になったらお酒を飲みたいです	7%	41%	27%	25%
5	薬物乱用の恐ろしさを知っていますか	42%	31%	20%	7%
6	危険な薬物は簡単に入手できると思いますか	(思う) 62%		(思わない) 38%	

■ 考察

本学級の生徒は、全体的に学習に熱心で、授業に対して集中して取り組もうとする姿勢が見られる。話し合い活動にも積極的に取り組める生徒が多く、課題を適切に捉えて学習に取り組むことができていると思われる。

事前アンケートでは、煙草に関しては、あまり興味を示していない。しかし中学生の時期は、周囲の人々や社会環境に影響をうけやすく、喫煙・飲酒・薬物乱用などに興味・関心をもっている生徒もいる。現段階での興味・関心は低いですが、二十歳になったら煙草を吸ったり、お酒を飲んだりしてみたいという生徒も複数いる。また(危険な薬物は簡単に入手できると思いますか)の質問に対して、(思わない)と答えた生徒は、38%おり、薬物乱用のきっかけが身近に潜んでいることを知らない生徒が多く、友だちや先輩に誘いや、好奇心などの理由から安易に手を出してしまう可能性もあると考えられる。

3 指導に当たっての留意点

(1) 熊本市研究主題

「自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育の在り方」

～主体的・対話的で深い学びを図る指導の工夫～

(2) 仮説

○教材の開発や場面設定の工夫、ICTの効果的活用を行えば、対話活動が活性化し、生徒が運動の楽しさを味わいながら進んで運動に親しむことができるであろう。

○生徒の主体的活動を狙った課題提示や取り組みの工夫を行えば、生徒同士学びを深めながら主体的に課題解決をし、できる・わかる喜びを味わうことができるだろう。

(3) 主体的・対話的で深い学びとなるよう、以下の点に留意する。

①個人思考の時間の確保

グループでの意見交流、学級全体での共有につなげるためにも、個人の考えをもつ時間を確保する。

②グループ学習の行い方の徹底

グループでの意見交流の行い方(手順)を示し、その方法を徹底するとともに、その際に必要な社会的な関わり方についても徹底する。

③効果的なICTの活用

生徒の思考を即座に全体に示すことができるよう、タブレット端末を活用し、電子黒板を適宜利用する。

④学習シートの工夫

授業の流れやポイント、生徒自身の思考が把握しやすいような学習シートを作成し、活用する。

「人権が尊重される授業づくりの視点から」

- 互いの考えを尊重し合い、共同して課題解決に向かおうとする。
- 話し手がどのような思いから発信しているのか、相手の立場に立って考えることができる。


4 本時の学習

(1) 目標 飲酒は、酒に含まれるエチルアルコールの作用により、心身にさまざまな影響（害）を与え、健康を損なう原因となることを理解できるようにする。

(2) 展開

過程	時間	学習形態	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	8	一斉	1 課題をつかむ (1) 動画を視聴し、酒に対するイメージをもつ ◇美味しそう。◇楽しくなりそう。◇飲んでみたい。	○本時の学習に対する興味・関心を高める。 ○単元のゴールを確認し、単元計画からめあてを設定する。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【めあて】飲酒による心身への影響について理解しよう。</div> (2) 飲酒についての問いをもち、課題についての予想をたてる。 ◇気持ちが良くなってリラックスできる。 ◇コミュニケーション能力が高まる。 ◇食欲が増す。 ◇よい睡眠がとれる。 ◇体に悪い影響もある。 ◇周りに迷惑をかける。 ◇お酒はやめられなくなると聞いたことがある。	○自分自身の課題であることを強調する。 ○小学校での学習を思い出させ、既習事項をもとに予想を立てさせる。 ○自由に発想し、そして発言しやすい雰囲気づくりに努める。
展開	13	個↓班↓全体	2 課題解決に向けて活動する。 (1) 飲酒の心身への影響について調べ、まとめる。 ①個人で調べ、シートにまとめる。 ②班で考えを共有した後、学級全体で共有する。 ◇エチルアルコールが原因で酔っぱらう。 ◇気持ちが良くなる。 ◇体に悪い影響も与える。 ◇思考力や判断力が鈍ってしまう。 ◇依存性があり、健康的によくはないこともある。 ◇急性アルコール中毒で死に至ることもある。	○課題解決に主体的に取り組めるよう、予想とリンクさせながら、その論拠を探すように指示する。 ○タブレットを利用し、自由に調べさせ、調べたことを簡潔にまとめさせる。 ○情報活用能力育成のため、出典を明らかにした上で、情報を適切に扱わせる。 ○個人思考→班で共有→全体で共有の流れで行う。 ○養護教諭は生徒正しい知識を押さえる。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【学習課題】 <なぜ大人はよくて、子ども（未成年）はダメなのだろう？></div> (2) 学習課題について、もう一度調べてまとめる。 ①個人で調べ、シートにまとめる。 ②班で考えを共有した後、学級全体で共有する。 ◇発育・発達期は影響を受けやすいから禁止されている。 ◇決して、大人だから良いわけではない。 ◇お酒の許容量は個人差がある。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【期待される学びの姿】 未成年の飲酒について、自分自身の課題としてとらえ、学習事項をもとにして考え、それを表現することができる。 </div>	○学習シートの内容と板書がつながるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【具体的評価規準】（知識） ○飲酒は酒に含まれるエチルアルコールの作用により心身にさまざまな影響（害）を与え、健康を損なう原因となることを言ったり書いたりしている。（方法：学習シート・発言） </div> 【到達していない生徒への手立て】 ○これまでの学習を振り返り、板書や学習シートから考えを導くことができるよう、個別の支援を行う。 ○正しい知識を教えるために絵や図を用いて分かりやすい掲示を工夫する。 ○学習シートの内容と板書がつながるようにする。
終末	8	個↓班↓全体	3 「学習課題」に対する答えをまとめ、「めあて」に対する振り返りを行う。	○めあてや課題と照らしながら、本時の学習内容を振り返らせる。 ○これまでの学習をもとに考えをまとめ、思考の整理を行う。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【まとめ】 ○発育・発達期の飲酒は、脳の萎縮や性ホルモンの分泌異常などが起こる可能性がある。 ○分解能力も低いため、急性アルコール中毒になる危険性も高くなる。 ○早期からの飲酒でアルコール依存症になる危険性も高くなる。 </div> 4 本時の学習で分かったことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 将来も見据えた上で、あなたはお酒とどのように付き合っていきたいですか。また、それはなぜですか。 </div> ◇お酒が体に与える影響を知った上で、自分の体に合った量を飲むようにしたい。 ◇とりあえず、飲める年齢になるまでは飲まない。	○自分の問題として捉えられるようにする。 ○適宜、養護教諭からの補足やコメントをもらい、さらに学びが深まるようにする。

5 板書計画



【めあて】 飲酒による心身への影響について理解しよう！

【学習課題】 なぜ大人はよくて、子どもはダメなのだろう？

<p>・美味しそう ・楽しそう</p> <p>・飲んでみたい</p>	<p>調べた結果</p>	<p>食欲増進 眠りやすい</p> <p>気持ち良くなる</p>	<p>良い影響</p>
<p>【学習の流れ】</p> <p>1 課題をつかむ、予想</p> <p>2 調べ、まとめるⅠ</p> <p style="padding-left: 20px;">①個人②班③全体</p> <p>3 調べ、まとめるⅡ</p> <p style="padding-left: 20px;">①個人②班③全体</p> <p>4 まとめ</p>	<p>予想...</p>	<p>・気持ちが良くなる</p> <p>・よく食べる</p> <p>・アルコールは悪い</p> <p>・体に悪影響を与える</p> <p>・思考力、判断力</p> <p>・アルコール依存症</p>	<p>エチルアルコールの影響</p> <p>急性アルコール中毒 一気飲みダメ</p> <p>思考力、判断力がにぶる 体に悪影響</p> <p>アルコール依存症</p> <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;">常習的な影響</p> <p>脳の萎縮 性ホルモンの分泌異常</p> <p>影響を受けやすい</p> <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;">未成年への影響</p>

【まとめ】

- 発育・発達期の飲酒は、脳の萎縮や性ホルモンの分泌異常などが起こる可能性がある。
- 分解能力も低いため、急性アルコール中毒になる危険性も高くなる。
- 早期からの飲酒でアルコール依存症になる危険性も高くなる。

6 ICTの活用計画

1. 課題をつかむための動画の提示。
2. 課題解決に向けて調べ学習でのタブレット端末の利用。
3. 調べたことを簡潔にまとめ、班内で共有するためのタブレット端末の利用。
4. 全体共有のために、班内での考えをまとめ、全体に提示するためのタブレット端末の利用。
5. 調査結果を補足説明するための動画および静止画の提示。

7 見方・考え方を働かせて、終末や次時以降の学習に生かす計画

1. 本時の学習を通して、自身や身近な存在の疾病等のリスク軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりを関連付けて考える。
2. 次時以降の学習と本時の学習とを関連付けて捉え、自身や身近な存在の疾病等のリスク軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりについて考えようとする。